



ツユの晴れ間の小学校野球

にこやかに交歓し健闘をたたえる

雨で延期になっていた第13回町内小学校野球大会は、ツユの晴れ間をぬって、6月21日鷹巣球場で、一回戦、準決勝が行われました。町内から6校が参加。日頃の練習の成果を發揮し好プレーが続出しました。試合終了後にはにこやかに交歓し健闘をたたえていました。準決勝を勝ちぬいた東小と鷹巣小は、7月6、7の両日鷹巣球場で行われる北秋二区予選に出場することになります。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

5月31日現在	(前月比)
総人口 25,134人	(5人減)
(出生 20人 転入 74人)	
(死亡 13人 転出 86人)	
男 12,241人	(8人減)
女 12,893人	(3人増)
世帯数 7,287世帯	(7世帯減)

六月定例町議会



出川町長の行政報告

五十九年六月定例町議会は、六月十八日から二十七日まで十日間の会期で開かれました。議会は初日に町長の行政報告と、提出議案の大綱質疑が行

われたあと各常任委員会に付託。二十、二十一日は一般質問、二十三日から各常任委員会。最終日に本会議を開いて閉会しました。六月定例会の行政報告は次のとおりです。なお、決定した議案は七月十五日付け広報で報告します。

七月十五日付け広報で報告します。

反収六一〇キロめざし畦道指導

〔農林課関係〕：今年は、雪消えが遅く加えて低温続きで、稲作への影響が心配されました。田植の盛期は五月二十二日で、平年の三日遅れとなりましたが、五月下旬になって連日の好天と高温のもとで田植がすすめられた結果、活着は五カ年の平均を上回っております。

今年の対策として、本町がめざす平均単収六百十キロどり実現のため、指導センターの機能を生かし、関係機関、団体農家が連絡を密にし、適切な水管理、病害虫防除対策等ができるよう、作況情報を提出するとともに、畦道指導を行う等、キメ細かな気配りをしながら農家指導にあたっております。

要望のありました家庭菜園について、今年度鷹小グランド隣接地千二百二十七平方メートルを借り、十八区画で貸付し栽培にはいっております。

放牧共用林の五十八年度利用状況は、仙石石沢国有林四百二十六畝利用延頭数四千九百三十五頭でありました。

融雪の災害は二四カ所で四千万円

積雪が多く、融雪災害が心配されましたが、特に災害を招き易い春三、四月の降雨量が少なかったことと農地、農業用施設管理者に防災パトロールの指導を強

化した結果、五十九年融雪災は、田七カ所九百万円、水路十二カ所千六百五十万円、農道四カ所千三百五十万円、頭首工一カ所二百万円、合計二十四カ所四千万円の被害にとどめることができ、六月下旬国の査定を受けることになっております。

大野台農業開発の本町の対応について、町の農業水産振興審議会委員が八戸平原国営パイロット事業を視察し、本事業に対する答申は今年度中に行われるものと思っております。

第二回植樹祭並びに山火事防止協議会は、今回のテーマ「あふれる緑、豊かな文化、燃やすまいみんなの暮しに生きる山」のもと町、営林署、森林組合共催で沢口地区の栄字大トシに、新入学児童と両親をはじめ林業関係者二百五十三人の参加を得て実施しました。県営事業としてすすめられております基幹林道大摩当線、峰越連絡林道前山滝の沢線開設工事は、五月十七日県が事業発注し、工事に着手しております。五月二十二日から二十三日にかけて、彦十郎谷地内から山火事が発生し、町有林五・四畝を焼失し、六百三十五万二千円の損害を受けました。

地震教訓を生かし

火災防止訓練実施

〔町民課関係〕：四月六日より十日間にわたり実施された全国春の交通安全運動においては、県警察音楽隊の協力を得て「交通安全町民総参加の集い」を開催し、町内パレードを行い交通事故防止に努めました。

また、四月二十五日より十五日間実施された防犯運動においても、防犯指導隊、防犯組合支部等の会員により防犯パレード並びに街頭宣伝と青少年の非行防止を重点に、防犯運動を実施しました。

昨年五月二十六日発生した日本海中部地震を教訓に、町民の防災意識の高揚と人命の安全及び火災防止を図ることを目的に、役場庁舎を中心に避難並びに火災防止訓練を実施したが、今後は一般町民の参加も含めて防災訓練の実施を検討したい。

在宅ねたきり老人の入浴については、入浴車「さわやか号」の取扱い訓練を行い、六月より計画通り実施していききたい。

鷹巣児童館の敷地周囲のよう壁工事については、五月末に竣工しました。

国民年金においては、昭和五十八年度の保険料が六・七%引き上げられ、検認率の低下が心配されましたが、年金委員及び口座振替の推進に努力し、昨年度より二・七%上まわる九十七・九%（県平均九十六・二%）の成績となりました。

クリーンアップに 三、六四五人が参加

〔保健衛生課関係〕：住民の健康を守る一環として、医療機関等の連携により、乳幼児対象に予防接種を実施し、次のとおりの実績であります。

- ▽急性灰白髄炎（小児マヒ）二百五十四人（生後三ヵ月―十八ヵ月児対象）
- ▽結核（ツベルクリン）千三百六十五人（生後三ヵ月―四十八ヵ月児対象）（B・C・G）六百十人（同 兇険性者対象）
- ▽風疹百八十人（中学女子二年生対象）
- ▽一歳六ヵ月児検診四十二人
- ▽三歳児検診三十二人

昭和五十八年二月施行された老人保険法に基づく保険事業の推進のため、各地域の役割を担う保険補導員大会並びに結核予防婦人指導員大会を開催し、百四十五人の参加を得、本年度の具体的な事業について研修

を行いました。また、健康づくり協議会全体会並びに専門部会を五月末に開催し、住民と行政が一体となり保険事業の体制づくりが当っているところであります。なお、国保事業としてがん検診に費用の一部を補助し、疾病の早期発見と早期治療の指導に努めています。

春季の町内主要河川と道路等のクリーンアップを、四月二十九日の早朝に実施のところ九十二団体三千六百四十五人の参加があり、環境の美化運動が定着しつつあります。なお、高校総体前の七月下旬に再度クリーンアップを実施する予定であります。

ごみの分別（可燃、不燃）収集を明確化するため、その日程を見直して四月から実施しております。ごみの不法投棄については、監視を強め指導に努めるとともに、クリーンアップ等を通して住民の意識向上をはかっております。

中央公園、東北有数の釣場と推奨

〔商工観光課関係〕：五月二十七日から一週間「消費者意識を高める週間」の行事として協力店百二十店による割引セール実施し、消費者大会を開催しました。消費者大会では、「業者と語る会」を企画し、一般消費者と商工団体代表やスーパー店主が出席、活発な意見の交換がなされました。食料品トレー（包装資材）の廃止、高校生の指定販売のあり方、デポジット（空カン、空ビン等の回収）問題、接客マナー、有害食品、品質表示などが出されました。

観光の大きな行事である「さくら祭」は、四月二十九日から五月六日までの八日間、中央公園を会場に行われましたが、折悪く気温低下による開花の遅れや連休中の雨続きなどにより、観客客は昨年を下まわる一万三千人台にとどまりました。

六月三日中央公園大堤において開かれた、ヘラ鮎釣秋田地区大会には、全県から約三百人の愛好者が集ま



り、腕を競い合いました。また、当日来町の日本へら鮎釣研究会理事長からは、春、夏、秋を問わずいつでも楽しめる「東北有数の釣場」という推奨を受けることができました。

発注工事額は 九、九一五万円余

〔建設課関係〕：五十九度に発注した工事は、五十七年度災害工事四件九百三万六千円、単独災害二件五十六万五千円、道路維持二十四件六千九百九十七万円、このうち市街地の側溝改良工事は七件二千六百三十九万円、補助事業に係る測量委託三件四百八十三万円、道路改良工事は三件五百四十万円、公園管理は三件九十一万七千円、都市計画道路太田・川口線の土地鑑定一件二十三万九千円など、四十件九十九万五千七百七十円（予算対比二十二・六%）となっております。

また、都市計画街路事業太田・川口線延長四百メートルの調査測量は、未だ関係者の了解を得られず、発注はしておりませんが、道路局所管の県施行分三百四十メートルについては、関係者の理解を得て五月二十五日より測量に入っております。

上水道の未処分剰余金一、三〇〇万円余

(水道課関係) … 上水道事業の五十八年度決算では、千三百八十三万三千四百四十六円の純利益を上げるこ
とができ、未処分利益剰余金は千三百八十五万三千三百八十円の決算状況であります。

脇神地区迄の上水道拡張事業は、給水地域の変更、認可等一連の手続きを進めており、また本議会に予算を提案しています。

また、簡易水道については、綴子、岩谷地区で大舟沢林道改良工事にともない、一部送水管の移設工事が生じますが、直営で実施したいと考えております。

鷹中第二体育館が完成

(教育委員会関係) … 鷹巣中学校第二体育館建設工事は、五月二十九日完成し、クラブ活動はもとより、高校総体の練習会場に使用することになります。なお本工事は七千八百十万円であります。

学校警備保障事業として綴子小、西小の実績をふまえ、本年度は南小、中央小学校の二校を六月一日から実施しておりますが、学校の盗難、火災予防等、事故防止が一層強化されることになりました。委託契約はセコム東北(株)であります。

また、学校施設整備については、鷹巣小の野球用バックネットが、百七十五万円(木村工務店)、国旗掲揚塔八十三万円(三協土建)でいずれも完成しました。

競技場にブロンズ像が寄贈される

上競技場入口にブロンズ像「風の門」一対を寄贈されました。

また、恒例の河田杯マラソン大会は、四月二十一日三百六十人の選手をもって開催されました。更に五月



十日は勤労者体育センターのプールの使用も開始しました。

なお、ご承知の全国高校総体は、選手役員およそ千五百人をもって八月一日の開会式のあと、八月五日まで本町において開催されます。これにともなう、花いっぱい運動の推進、宿舎、駐車場など関連施設の整備、受入れ態勢の万全を期しております。

(税務課関係) … 本年度の町民税、固定資産税、軽自動車税に関する課税事務もおおむね完了し、概要状況及び課税状況調等の作業に入っておりますが、現在の状況は、次のとおりです。

▼町民税 納税義務者一万五百四十二人(前年度一万五百六十七人) 前年度対比九九・七六% 調定額四億七千七百八十一万一千円(前年度四億七千八百四十九万三千円) 前年度対比九九・八六%

▼固定資産税 納税義務者九千六百人(前年度八千九百二十四人) 前年度対比一〇〇・九二% 調定額五億二千四百六十四万三千円(前年度四億九千八百六十五万三千円) 前年度対比一〇五・二二%

▼軽自動車税 納税義務者六千九百八十三人(前年度六千五百九十一人) 前年度対比一〇五・九五% 調定額千五百八十六万八千円(前年度千三百四十四万七千円) 前年度対比一二〇・七%

花火の事故に気をつけよう

- 花火による火災が増えていきます。花火は広い場所で、火の始末は“あと、でより”“いま、”が大切です。
- やけどなどの事故を防ぐため、花火は人に向けてはいけません。
- 不可効力によって万一事故がおきた場合は、花火を必ず保存し、買った店に連絡してください。



青少年を非行から守る

全国強調月間 7月1～31日

最近の青少年の非行は、53年から急激に増加して、戦後最悪の状態になり、第三のピーク期とも言われております。このため、この運動を契機に地域社会の連帯と融和を深め、地域みなさんの協力で、青年の非行防止と明るい家庭社会を築くため、努力しましょう。

◆7月5日午後3時30分から、鷹巣中学校プラスバンドにより、児童公園～駅～役場前までパレードを行います。

投票日は七月十五日

町農業委員会委員選挙

告示は七月十日です

七月十九日で任期満了となる町農業委員会委員選挙は、七月十日に告示され、投票日は七月十五日です。町農業委員の選挙は、町の農業の発展と、農家の向上を図るため、見識豊かな人を選ぶもので、候補者の人物、公約をよく検討して投票しましょう。

投票できる人

町農業委員会委員選挙は、公職選挙法に基づく選挙です。この選挙は、選挙当日に次の要件を満たしている者でも、選挙人名簿に登録されていなければ、選挙権を行使することはできません。

きません。

今回の選挙人名簿は、ことし一月一日現在で調整し、三月三十一日で確定したものです。

◆選挙権を有するための必要要件

▽町農業委員会の区域内に住所を有する者

▽選挙人名簿確定の期日に満二十歳以上（昭和三十九年四月一日以前に出生した者）であること

▽十町以上の農地を耕作している者、およびその者の配偶者または同居の親族。ただし、耕作に従事する日数が一年を通じて、おおむね六十日に達しないと農業委員会が認められた者は除かれます。



また、要件をそなえていても禁治産者、禁錮以上の刑など、公職選挙法による欠格者は選挙権がありません。

選挙人名簿確定後に、死亡や転出、農地を失った場合も選挙の資格はありません。

投票入場券は

町選挙管理委員会では、この選挙の入場券をそれぞれの家庭に七月十日前後に郵送します。配付もれがありましたら、選挙管理委員会にご連絡ください。ただし、無競争で当選が決定した選挙区の入場券は送付しません。

不在者投票は

不在者投票は、投票日の七月十五日に仕事や用事のため、投票所に行つて投票できない人のために設けられているものです。不在者投票は、選挙が告示される七月十日から、投票日前日の七月十四日までの、午前八時三十分から午後五時までです。

不在者投票を行う方は、町選挙管理委員会に対して、直接または郵便で請求（指定病院に入院の方は病院長に請求）してください。請求用紙は選挙管理委員会にあります。

ただし、無競争で当選が決定した時点で、該当選挙区の不在者投票は中止します。

五投票区が二時間短縮

十五日の投票日は、午前七時から午後六時まで町内十五カ所で投票が行われますが、つぎの

投票所で閉鎖時刻が繰りあげられますのでご注意ください。

▼午後四時まで（二時間繰りあげ）

▽緑ヶ丘投票区

▽黒沢投票区

▽坊山投票区

▽竜森投票区

▽葛黒投票区

問い合わせは

町農業委員会委員選挙事務執行のため、役場二階小会議室に事務局を設置します。

選挙についてのお問い合わせは、☎二一一一一内線二七一へ。

農業委員会委員選挙人登録者数と選挙区

(59. 3. 31、現)

選挙区と定数	投票区	投票所	男	女	計
第一 (2)	鷹巣	国民会館	375	442	817
	摩当	栄生活改善センター	208	233	441
	太田	太田児童館	154	167	321
	計		737	842	1,579
第二 (2)	坊山	坊山部落会館	73	76	149
	沢口	沢口林業センター	484	543	1,027
	川口	川口部落会館	161	166	327
	計		718	785	1,503
第三 (3)	纒子	纒子基幹集落センター	728	800	1,528
	糠沢	北健康増進センター	318	335	653
	計		1,046	1,135	2,181
第四 (2)	七日市	七日市基幹集落センター	417	435	852
	葛黒	葛黒林業センター	139	144	283
	竜森	三ノ渡児童館	129	129	258
	計		685	708	1,393
第五 (3)	坊沢	坊沢公民館	405	475	880
	緑ヶ丘	緑ヶ丘担い手センター	141	158	299
	七座	前山部落会館	310	346	656
	前山	黒沢生活改善センター	26	30	56
	計		882	1,009	1,891
合	計		4,068	4,479	8,547

高校総体

本番へむけて始動

八月一日から始まるインターハイのりハーサル大会として、六月九日から十一日まで鷹巣体育館を主会場に、全県高校総体女子バレーボール競技が行われました。

運営面では、鷹巣農林高、鷹巣高の生徒が、ラインズマン、放送、受付など大会の裏方として活躍。高

校生らしいキビキビした動きは好評でした。

また、試合は強豪四校で決勝リーグ戦が行われましたが、接戦のすえ角館南が優勝、由利が準優勝で、それぞれインターハイ出場権を獲得しました。

▶地元鷹巣高校の入場行進



◀宣誓は鷹巣高主将・佐藤祐美選手



▶インターハイ出場をかけた熱戦が展開された。

■3日(日) 第一回東北マスターズ陸上競技選手権大会が大館市長根山競技場で開催された。

耳馴れないこの大会は、男四十歳以上、女三十五歳以上のアマチュアで、会に登録(登録料あり)し、参加料(出場種目数により二千円〜六千円)を払って出場するものである。年代ごとに短・中距離から跳・躍・投てきの種目であった。往年の選手だけに若者に劣らない記録。体はせい肉なく、スリムで健康そのもの。



町長日誌

出川 禮一

6月1日~17日

七、八年前富士五湖で行われた、国際老人マラソンに参加した選手の健康診断では、血圧は多少低いがまず正常で肺活量の低下は少い(普通は二十代を界にして低下し続ける)とのこと。中・長距離(ジョキング)走行等は呼吸が頻繁で、瞬時に吸う、吐くの繰り返し。医学的には病氣や手術等で呼吸困難で絶命するケースが多いときく。肺活量の低下云々は医学的な一つの発見と述べられた。みなさんも

ジョキングの習慣をつけよう。但し無理は絶対に禁物である。

■4日(月) 米代川治水ならびに国道七号線拡幅改良の両期成同盟会が当町で開催された。

■9日(土) 全県高等学校女子バレーボール大会が、夏に行われるインターハイのりハーサルとして、まったく同じに演出された。

秋田銀行鷹巣支店開設六〇周年を記念して樹木を、また町婦人団体連絡協議会(一部町老連有志の協力をえて)か

らはアジサイの寄贈を受け、それぞれ中央公園に植栽の奉仕をしていただいた。桜と松が主体の中央公園に、広葉樹の異彩で四季のいろ濃密となる。成長が楽しみである。

■10・17日(日) 好天の連続で稲の生育が順調。表情の明るいなかで各地区趣向をこらした。さなぶり運動会が開催された。

■11日(月) 地域の健康を守るため、綴子地区では二回目健康大学が開設された。



身近かな問題を取りあげ

綴子地区で健康大学

健康を自からの資産として活力ある町づくりをしよう...と健康大学を開設して十二年目になりますが、こしは綴子地区を対象に実施されることになりました。開講式は六月十一日綴子基幹集落センターで行われ、婦人会や老人クラブの会員が百五十人参加。町長や佐藤農協組合長らの祝辞を受けたあと、県小児療育センター・九島勝司所長が「健康な老後をめざして」をテーマに講演しました。同大学は月一回の割りで開催される予定であり、「家庭における病人の看護」「自然観察と薬草」「食生活」など、身近かな健康問題を取りあげて、学習することになっております。なお、三回以上の受講者には終了証書と記念品が与えられることになっております。

町婦人団体連絡協議会(中島喜代会長)では、中央公園をアジサイの丘にしようと、苗木二百本を植栽しました。植栽は世界環境週間にちなんで計画されたもので、六月九日午後二時から会員四十人余りと、老人クラブの協力をえて実施。今泉・中村幸雄さんが昨年さし木して増やした苗木を提供してくれたもので、手にクワをもった参加者は三び間隔に心を込めて植え、一時間余りの作業に心地よい汗を流していました。アジサイは、六、七月の梅雨どきに緑に映える淡い花を咲かせてくれるので、同協議会では五年計画で二千本を植栽。新名所「アジサイの丘」を建設しようとはりきっていました。

中央公園を「アジサイの丘」に
願いを込めて植栽



秋田市以外では初めて

バスケット日本リーグを開催

第十八回バスケットボール春期日本リーグ二部の鷹巣大会は、六月十七日午後一時から鷹巣体育館で開催されました。

女子が日立那珂対日本興業銀行、男子がトヨタ自動車対東京海上の好カードが展開されました。

日本リーグは、県内では秋田市以外で初めての開催とあって県内のバスケットファン千二百人が訪れ、白熱したプレーに盛んな声援を送っていました。

結果は、女子が両チームともマンツーマンでスタート。興銀が16対7とリードしたものの、日立がゾーンデフェンスに切りかえ、カットインで応酬。後半の残り十六分で33対34と逆転しました。一進一退の攻防を繰り返しながらも日立が56対55でからも逃げ切りしました。

男子は、マンツーマンで勝るトヨタが、たて続けに6ゴールを決め、東京海上はシュートミスも多く、トヨタは97対63と大差で東京海上を破りました。

また、前座として鷹巣小対桂城小(男子)、合川中対森吉中(女子)の試合が行われ、大会を盛りあげていました。





沢口地区

農作業の疲れを癒し豊作を願って、各地区恒例の「さなぶり運動会」が六月の十、十七の両日、七日市、沢口、栄、綴子、坊沢、七座の六地区で開催されました。

種目は、各地区バラエティーで「どじょうすくい」「米消費拡大」「針仕事競争」などの遊競技で汗を流し、珍プレーに笑いが飛び交うなど楽しい一日を過ごしていました。

珍プレーに続くの さなぶり運動会



坊沢地区



栄地区

おしらせ

警察官を募集

昭和六十年四月採用の警察官を、次の要領で募集しています。

この募集は、秋田県、埼玉県、千葉県、神奈川県、静岡県、警視庁（東京）が共同で実施しているものです。秋田県は約六十人の採用予定です。

▼受験資格▶昭和三十二年四月二日から昭和四十二年四月一日までに生まれた男子。

(A)大学卒業者(卒業見込も可)
(B)高等学校卒業程度の学力を有する者

▼試験日▶九月二十三日(大館市)

▼受付期間▶昭和五十九年七月二日から八月三十一日まで。

▼申し込み先▶鷹巣警察署、警務係へ(☎二一一二四五)

税務大学生募集

国税庁では、税務大学校受験を募っています。

これは、国家公務員採用初級試験(税務)に合格し採用されますと、実務に従事する前に専門教育を受けるため、給与をもらいながら約一年間

の研修を受け、卒業と同時に税務職員としての地位が保障され、国税の仕事に従事するというものです。

募集要領は、次のとおりです。

▼受験資格▶昭和三十九年四月二日から昭和四二年四月一日までに生まれた者

▼申込期間▶七月四日から七月十二日まで

▼試験日▶第一次試験十月七日(教養、適正及び作文試験)
第二次試験十一月十二日(人物品試験、身体検査)

▼申込先▶仙台市本町三丁目三二―二三 仙台第二合同庁舎 人事院東北事務局

*くわしいことについては、大館税務署(☎〇一八六一四二―〇六七一)へお問い合わせください。

困りごとの相談は

無料調停相談会へ

大館調停協会では「無料調停相談会」を開催します。

土地、建物、交通事故、離婚、相続などの紛争、その他法律上の諸問題など、相談内容の秘密は固く守られますので、お気軽にお出ください。

▽日時▶七月十六日、午前十時から午後三時まで。

▽場所▶鷹巣中央公民館

申請免除の

手続きはお早めに

国民年金



7月31日までです

国民年金加入者で、病気や、一時的に所得がなかったり、所得が少ないために、保険料を納めることができない人には、保険料を免除する制度があります。免除された期間は、滞納期間とはなりませんので、将来、年金をもらう場合の資格期間に数えられます。免除の理由に該当しても「申請」しなければ免除されませんので、保険料を納めることができない人は早めに年金係に届出してください。

申請免除は七月末日まで、手続きすると四月から一年間免除の扱いとなります。ただしサラリーマンの奥さんなど任意加入の人は免除の対象になりません。

その後保険料を納めることができるようになった時は、将来有利な年金を受けることができるように、免除されていた期間の保険料の全部、または一部をあとから当時の保険料額で「追納」することが認められています。追納した場合、免除を受けなかったものとして、年金額が計算されます。

ただし、追納できるのは、追納する時点から十年以内の期間に係るものに限られています。滞納の場合は、二年を限度として時効となります。

思いちがいをしないようにしましょう。

余裕ができたら追納を

保険料の免除を受けた人が、

保険料は忘れずに

納めましょう！

保険料を納め忘れたままにし

年金相談

ておきますと、万一のとき年金が受けられなかったり、将来受ける年金が少なかったりします。最近では保険料の額も高くなりましたので、何か月分も未納にしますと、金額が大きくなって納めるのが大変になります。保険料は納付期限までにキチンと納めましょう。

なお、納め忘れをなくするには、口座振替制度が便利ですので、ご利用ください。申込用紙は、銀行、農協にあります。

問 六月十日で満二十歳になりました。美容師学校の生徒ですが、役場より連絡がありました。国民年金に加入させられました。学生は加入しなくてもよいと聞きました。

答 国民年金では、昼間部の大学のように学校教育に類する教育を行うものは、任意加入にしておりです。

しかし、簿記・珠算、看護婦、栄養士や美容師など、職業や実生活に必要な技術・技能を教授する学校、施設等の各種学校は、強制加入の対象となっています。

鷹巣中学校第二体育館が完成

学校教育の充実に活用

鷹巣中学校体育館が手狭まになったことから、町ではよりよい環境で学校教育ができるようにと、第二体育館建築工事を二カ年事業で進めていきましたが、五月二十九日に完成しました。

また、夏には全国高校総合体育大会が開催されますので、練習会場としても使用されることとなります。



シートベルトで安全運転

その一瞬 あなたを救えるのはシートベルトだけ

公民館は 郷土づくり教育を!!

公運審研修会



鷹巣町には二十人の公民館運営審議会委員がおりますが、六月十一日ことしはじめての研修会を開きました。

「公民館運営審議会の意義と役割」と題して、講師の県教育庁社会教育課・三浦隆一氏はつぎのように述べました。

公民館は、地域の人々の生活の必要にこたえ、教育・学術・文化の向上につとめ、民主化の推進を目的とするものであるがそのためには、つぎのような理念に立たなければいけない。

- ▼ たすことができなない。
- ▼ 公民館活動の核心は、国民の生涯教育の態勢を確立するにある。これからは学校教育のみで終るべきでない。
- ▼ 公民館活動、究極のねらいは、住民の自治能力の向上にある。社会連帯・自他共存の生活感情を育成し、住民自治の実をあげる場となること。
- ▼ 公民館活動、究極のねらいは、住民の自治能力の向上にある。
- ▼ 公民館活動、究極のねらいは、住民の自治能力の向上にある。
- ▼ 公民館活動、究極のねらいは、住民の自治能力の向上にある。

学習と創造の場

そして、その役割は、「集会と活用」|| 住民の集会の場として、いこいの場、茶の間など多様な役割をはたすのが公民館である。

を整理、生活課題を解決するための学習をすすめる所である。

▼ 「総会と調整」|| 地域社会における課題と、いかにして総合的にとりくむか、ここに公民館の高次な役割がある。

公民館運営審議会は、館長の諮問機関であるが、その役割は住民と公民館のパイプ役である。住民の声を運営に反映させること、公民館の事業の趣旨を住民に浸透させることである。

会議は年に数回しか開けないと思うが、常時活動として

▼ 住民の関心がどこにあるかをつかむ

▼ 地域課題の発見につとめる

▼ 人材発掘につとめる

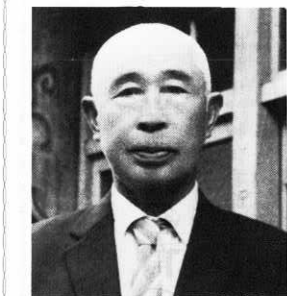
▼ 社会教育施設設備の充実につとめる

▼ 事業の啓発につとめる

▼ せまい地域だけでなく、町全域の立場からも見る

▼ 公民館と役場とのつなぎ役となる。

八十年代の公民館の方向



最後に秋田県の公民館の今後の方向として「郷土づくり教育の中心的役割を担うこと」「地域の学習センターとしての役割を果たすこと」「地域における総合教育計画づくりの中心的役割を果たすこと」を示唆して約一時間半の講義を終った。

ふるさと 人物伝

69

佐藤茂信

一八九二—一九六九

坊沢の村はずれに現在の五義民碑が建てられたのは大正十三年のことである。五人の義民が「村成敗」の悪法によって暫首の刑に処されてから二百年、当時の青年会が発起人となったの事業であった。

担当教科は「稲作」で、教え方はわかりやすく、実習はきびしい方で、なかなかサボることができなかったと、当時の教子達は言っている。

曲ったことは一切受けつけず校長と衝突、昭和六年、強引に辞職、その後、綴子青年学校の教員となる。農業会長などを勤め昭和十四年から十七年までは坊沢村長として、現在の西小の校門通りを、自分の屋敷を提供して通す。戦後は鷹巣町教育委員をつとめる。

資料・農林時代の教子、長崎佐太吉氏、藤島修三氏、嗣子、佐藤孝三氏、長女信枝氏談）文責長崎久



アユ放流で“釣り場の富庫、

町漁業協同組合（渡辺茂雄組合長）では、町内の河川を“釣り場の富庫、にしようと、米代川の阿仁合線鉄橋上流300 m地点と小猿部川脇神橋付近にアユの稚魚3万尾100キロを放流しました。放流されたアユは琵琶湖産で、体長が5センチ前後のものです。アユ釣りの解禁は7月1日ですが7月下旬ころには15センチ位に成長し、釣りの醍醐味が楽しめそうです。

町老人クラブ連合会（長谷川真一郎会長）は、6月16日青葉荘で定期総会を開催しましたが、会議に先だって青葉荘前の花壇づくりに汗を流しました。同荘は老人の憩う場所と同時に、インターハイの宿舎となることから、環境を整備しようということになったもの。会員は小スコップやクワを持ち、慣れた手つきで200本のマリーゴールドを植わっていました。

町老連でも花壇の整備奉仕



秋銀で樹木129本を植栽

秋田銀行では鷹巣支店開設60周年を祝って、中央公園に6月9日記念植樹を行いました。佐藤正支店長以下職員が総出で、コブシ、ナツメ、サルスベリ、ウメモドキなど10種類129本を中央公園の遊園地に植えました。同公園は、桜やツツジなどが植えられています。今回の植樹で中央公園に季節折々の花を咲かせ、訪れる人の心を和ませてください。



秋田県身体障害者体育大会は、5月20日秋田市八橋陸上競技場で行われました。

当日は町から選手や応援団38人が繰り出し、60m、100m走、ソフトボール投げ、砲丸投げで熱戦が展開されました。結果は、1位に近藤与治郎さん、2位に武藤秀雄さん、岸野新作さん、戸沢俊子さん、本城清一さん、3位に武田佐市郎さん、藤島多吉さんがそれぞれ入りました。

全県身障大会で7人が入賞



の広場



北幼稚園
いしかみ ゆうきくん(5歳)



三年前の事です、赤信号無視の高校生三人に注意したところ、「どっちからも車がこないんではないか」そして「文句言わないよ」との言葉に一瞬後去りを感じました。負けてはいけな



綴子上町 三沢力一郎 (61歳)

大人のき然とした態度で 今回のテーマ『青少年を非行から守ろう』

を案ずる会話をして別れました。数週間後この高校生に会った時、明るい挨拶をされたことが思い出されます。
私は、長年児童福祉施設に勤めて、子供の治療回復の立場から、厳しく叱ったりゲンコツを見舞ったものです。
しかし、私の体験では、ほとんどが個人のミスに直接ふれないで、共に走ったり、作業を通して心のふれあいを持つという非指示療法を取ってきました。
青少年の非行問題は多種多様な複雑さが含まれており、マスコミでも議論されておりますが、

討議 親の意見・子供の意見



オニゲシ
ケシ科

地中海からベルシヤ地方にかけての原産種、明治年間渡来した観賞用多年生草本。
初夏の頃、深赤色で10cm位の大形の美花をつける。庭園や農家の庭先きによく見かける。
(南小学校 畠山益穂先生)



わたしの自慢こ

盆栽作りは子供を育てると同じ

大町・河田 三之丞 (64歳)

いつの間にかこんなに多くなつたらうか、一五〇〜二〇〇鉢位、数えたことがない。少し位、人にあげてもよさそうですが、三年五年と手塩にかけて見れば、せつかく上げてても枯死させては可愛そうと思えば仲々手離せない。
振り返って見れば昭和二七、八年頃だろうか、百円で三本求めた樹も今では、堂々と風格がにじみ出て、どうやら盆栽らしくなつて参りました。

来年の花の事が念頭に來ます。この樹の枝が、三年後にどのような姿になるか、毎年の楽しみです。自分で採点すれば、良くて八五点位で、仲々百点の年はありません。過保護もなげやりもだめ、常に暖かい眼で子供を育てると同じです。
若い人たちが新しい知識を身につけ、どんなのびゆく姿はたのしく思いますが、私達もいたずらに年輪に腰をかける事もなく、常に新しい知識を求めて進まなければと思う昨今です。

みんな



北幼稚園
さとう まゆこちゃん(5歳)



七日市大畑
島山美由紀(19歳)

家庭や社会、学校でも思いやりのある具体的なふれあいが必要です。列車を利用すると、高校生の喫煙をみかけることがありますが、大人はき然とした態度で注意してほしいものです。

善悪を判断する力を養う



今年、ようやく成人を迎えるばかりの私には、「非行」という問題について、独自の意見を持つ力など少しもないけれど、同年代だからこそ、避けてはならない問題なのだと思う。私の高校時代「非行少年」と

呼ばれる人達はいなかったように思うが、それは、性格や気性を知っているからであって、教師や父兄から見れば、必ずしもそうでなかったに違いない。外見から「非行少年」を決めつける人が意外に多い。

精神的に大人になり切らず、

背のびばかりしている不安定な時だからこそ、自分自身を冷静に見極めることのできる力を、家庭や学校で養って欲しいと思う。よく「友達が悪い」という言葉を耳にするけれど、それは、そういう子と友達になる本人はどうなのか。その子をそんなふうにしたのは一体何なのか。責任を転嫁するばかりでなく、周囲がその原因を掘り下げて考えて見るべきではないかと思う。善悪を判断することさえできれば、非行などなくなるのに、と残念に思えてならない。

広報のめぐり

冷やして飲む日本酒 冷たい飲み物が

おいしい季節ですが、最近左党に人気があるのが冷やして飲む日本酒、生酒。

普通清酒は、モロミをしぼってろ過し、火入れをした後三ヶ月以上貯蔵して熟成させ、瓶詰め

出荷します。これに対して生酒は、最初の火入れをせず、低温貯蔵し、瓶詰め時に火入れをします。生酒は、二時間ほど冷凍庫にいれてシャーベット状にしても乙なものです。完全に凍らせてしまうと味が落ちます。冷たく、のどごしがよいのでつい飲みすぎてしまう傾向があるようです。冷たくてもお酒には変りないので、飲みすぎにご注意を。

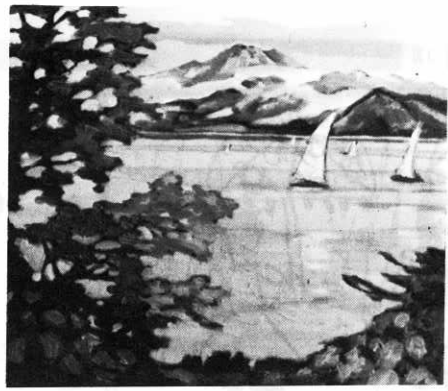
出荷します。これに対して生酒は、最初の火入れをせず、低温貯蔵し、瓶詰め時に火入れをします。生酒は、二時間ほど冷凍庫にいれてシャーベット状に

写真は昭和12年12月9日に完成した旧鷹巣町役場庁舎前（現在の労働福祉会館）で、役場職員が記念撮影したものです。当時は中央の成田重太郎町長を含めて20人のスタッフでした。合併以降は多くの行政需要に対応するため、職員定数も230人となっております。

(写真提供は、花園町嶺脇新一氏)



たかのすの昔



一級美術会連合委員 九島幸三氏

七月の健康相談

七月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、十一日と二十六日です。

時間は、午前九時から午後三時まで、血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、二日と十六日です。

時間は、午前九時から午後三時まで、妊婦検診、検尿、体重測定など行います。

毎週月曜日には母子手帳を交付します。

※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

◇ 離乳食実習指導は、十九日〓五八年十二月生まれとなっています。

◇ 受付時間は、午前九時三十分から十時まで。

◇ 乳児健康診査は、十九日〓五九年三月生まれとなっています。

◇ 受付時間は、午後一時から一時三十分まで。おいでの時は母子手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

◇ 三歳児健康診査は、十二日〓五六年五月、六月生まれとなっています。

◇ 受付時間は午後一時から一時三十分まで。おいでの時は、母子手帳と問診票を忘れずにお持ちください。

◇ ※場所は、いずれも鷹巣保健所で行ないます。

胃の検診忘れずに 受診しましょう

胃集団検診が各地域で実施されますので、忘れずに受診してください。都合により、日程どおり受診できない方は、もよりの場所を受けてください。

七月三日から十七日まではそのとおりです。(日程は、随時

広報に掲載いたします)

3日〓中畑、妹尾館、横瀬、品類、岩脇(七日市基幹集落センター)

4日〓本郷、根木屋敷、吉野(七日市基幹集落センター)

5日〓坊山、湯ノ岱、四渡(坊山会館)

6日〓小森(小森会館)

7日〓脇神、上野(脇神会館)

10日〓中屋敷(中屋敷会館)

11日〓藤株、小摩当(藤株児童館)

12日〓堂ヶ岱、高村岱(堂ヶ岱会館)

13日〓舟場、堂ヶ岱、高村岱舟場会館

14日〓南鷹巣、西陣場岱(南鷹巣会館)

17日〓川口、湯車(川口会館)

※検診時間は午前五時半から七時までです。

危険物取扱者講習会

危険物取扱者保安講習会が、九月三日鷹巣中央公民館で実施されます。

受付期間は、七月六日から七月二十日まで、鷹巣阿仁広域消防本部(☎二一一一九)へ申し込みください。

停電のおしらせ

七月の作業停電は、次の地区です。

▽4日〓門ヶ沢、葛黒(午前九時から午後十二時半)

▽6日〓太田、高野尻、掛泥、材木町

あけぼの町(午前九時から正午)
▽9日〓上野(午前九時から正午) 脇神(午後一時半から四時)
▽10日〓掛泥(午前九時から正午)

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

▽吉ヶ沢〓佐藤芳次さんから亡父福蔵さんの香典返し

▽綴子上町〓高橋三治さんから亡父松之助さんの香典返し

▽堂ヶ岱〓小塚巖さんから亡母キヨさんの香典返し

▽中畑〓長岐甚徳さんから亡母ミサホさんの香典返し



6月1日〓6月15日

誕生おめでとうございます

成田季実子(光義四女) 太田

石津 由希(芳夫二女) 掛泥

佐藤 陽介(浩 長男) 元町

藤島 政弥(進一長男) 掛泥

岩谷理恵子(幸作長女) 前野

澤田ちえみ(一文二女) 前山

内山 太樹(恵一長男) 向黒沢

村田佳奈子(光彦二女) 西上綱

三沢 大樹(政行長男) 田中
中嶋 夏美(信彦長女) 舟場
柴田 真伸(義明二男) 掛泥
小笠原瑠末子(進長女) 綴子大畑

泉谷めぐみ(義弘長女) 田中
高橋祐太郎(穂長男) 綴子上町
■二人の前途を祝福いたします

伊藤 清貴 南鷹巣

柳田 直美 能代市

細田 正堂 ヶ岱

畑井 菜穂子 大館市

武石 隆 森吉町

宮野 美香 南田中

藤田 栄一 二ツ井町

佐藤 礼子 糠沢

渡辺 勇喜 大館市

佐藤 裕子 綴子上町

白根 一喜 田代町

大川 幸子 深閑

春日 昭美 森吉町

和田 政子 住吉町

小笠原 一成 前山

長崎 康子 大野尻

藤田 憲一郎 前山

藤本 成子 あけぼの町

中村 正幸 今泉

多賀谷 登美子 森吉町

大川 信美 三ノ渡

成田 聖子 新田中

桜田 淑人 あけぼの町
大丸 京子 大館市

おくやみ申しあげます

小塚 キヨ(64歳) 堂ヶ岱
桜田長十郎(75歳) 舟場
畠山 サタ(68歳) 松沢
武田 サト(72歳) 東横町
佐藤 セツ(51歳) 小田
福島 隆三(79歳) 松葉町